

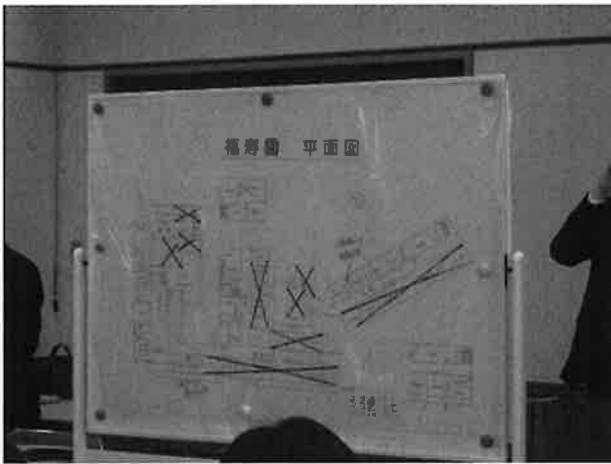
令和元年度 弘前市福祉避難所開設図上訓練の実施結果について（報告）

今回の開設訓練は、従来の実働訓練形式ではなく初めての図上訓練形式で、参加者自らの施設における福祉避難所開設手順等を確認してもらい、訓練終了後、施設職員に広く周知を図ってもらうことを目的に、下記のとおり訓練を実施しました。

青森県危機管理局危機管理対策監による訓練総括のもとで、『要配慮者の受入体制を考える』をテーマに、実際の施設図と「要配慮者カード」「食糧物資カード」を使用して「避難スペース」と「備蓄」を考える4つのグループワークを行いました。施設職員の方々による意見交換、発表を通して多くの実践をしていただきました。また、訓練を通じて、福祉避難所の導入説明の必要性や、より詳細な想定を設定すべき等の課題も明らかになりました。

- 日 時 令和2年1月9日（木）午後1時30分～午後4時
- 場 所 弘前地区消防事務組合消防本部 3階大会議室
- 参加者数 60人（以下内訳）
 - 「福祉避難所の確保に関する協定」締結法人等職員 45人
 - 弘前市社会福祉問題対策協議会委員 6人
 - 弘前市社会福祉協議会職員 2人
 - 弘前市職員 7人 ※事務局除く
 - [防災課・福祉総務課・障がい福祉課・生活福祉課・介護福祉課]
 - 【訓練総括】 青森県危機管理局防災危機管理課 岡元危機管理対策監ほか 3人
 - 青森県健康福祉部健康福祉政策課 1人
 - 中南地域県民局保健総室（弘前保健所） 1人
- 訓練概要 グループワーク『要配慮者の受入体制を考える』
 - 訓練① 避難スペース
 - 要配慮者カードによる優先度判定
 - 施設全体図を用いたシミュレーション
 - 訓練② 備蓄
 - 食糧・物資等不足の確認／供給依頼票の記入
 - 食糧物資<<モノ>>・職員応援<<ヒト>>

○ 訓練概要 (写真)



○ アンケート集計表・新聞記事 (別紙)

令和元年度 弘前市福祉避難所開設図上訓練アンケート 集計表
(令和2年1月9日実施)

【回答者】協定締結法人等職員・社会福祉問題対策協議会委員 計51人

1 本日の訓練は、貴施設における取組の参考になりましたか。

参考になった	どちらともいえない	参考にならなかった	無回答
40人	5人	1人	5人

2 来年度以降はどのような訓練等を希望しますか。(複数回答あり)

図上訓練	実働訓練	意見交換会	その他	無回答
30人	18人	19人	2人	6人

その他自由記入

- ・市での備蓄の状況、災害が発生した時に活用できる制度、社会資源等の説明会
- ・事例に基づいたケース検討

3 その他、意見・要望等がございましたらご記入ください。

- ・福祉避難所として機能できるようにどんな用意が必要かわかり、良かったです。
- ・福寿園平面図のコピーが粗く、考えや議論に制限がかかってしまったのが残念でした。
- ・社協の職員の体験談や施設に対しての考え方等も聞けて、貴重な意見だと思いました。想定レベルを厳しくしていかないと現実には生かせないとも思った。
- ・グループワークでしたので、他の施設の方の話を聞いたのが良かった。
- ・避難者を受け入れた場合やその際の疑問が想定されることがあった。質疑をする機会も必要であると感じた。
- ・初めて参加し初めは何が何だかわからなかったが、避難スペースを考えた時にこども園でもこういうことがあるかもしれないと考えさせられ、とても参考になりました。避難をすることの、対応の仕方の変さも考えさせられた。
- ・参加者の皆様が使う言葉等が仕事柄の用語であると思われ、すべてが初めてでした。参考になりましたが、自身の職業に果たして活かせるのかわかりません。(活かしたいですが)個人的には勉強になりました。
- ・本日は研修に参加させていただき、ありがとうございました。
- ・意見交換をできて良かった。実際に起こらないとわからないことが多く、考えさせられた。
- ・施設の災害時の対応策を聞いて“ここまでやっているのか”と感心しました。
- ・基礎編、応用編などそれぞれのレベルに合わせた研修会があれば良いと思いました。
- ・本日実施した内容を当施設で考え、今後の受入体制に備えていきたいと感じました。

(裏面に続く)

3 その他、意見・要望等がございましたらご記入ください。(続き)

- 運営マニュアル1頁の【対象者】に書かれていること、7頁(6)要配慮者の緊急対応時に書かれていること、(別紙2)の優先度判定基準表に書かれていることを読みくらべた時、【対象者】をどのように考えたらいののかなという疑問がわきました。一般的なことですが、一時避難所の管理者・お世話担当はどなたがするのかという疑問。災害発生時の有線放送について、グアングアンと反響して聞き取れないのですが。町会長とか消防員とか、地域の誰かに依頼してはっきり聞こえるかどうか確認し、不明瞭の地域については対策を考えてもらいたいと思います。
- もう少しロールプレイしやすいように、情報をプラスできないかご検討いただきたく感じました。貴重な機会を見学参加させていただき、ありがとうございました。
- とても参考になりました。ありがとうございました。今回とは別の事ですが、以前、夜中にサイレンが誤作動したとき、弘前市役所ホームページのサーバーがダウンし、情報を収集できなかったのも、ぜひ改善していただければと思います。
- より具体的な内容で図上訓練の方がグループワークしやすいと感じた。
- 高齢施設で障がいの対応、障がいの施設で高齢の対応ができるようマンパワーの確保が必要。ライフラインが途切れた場合の市及び県等への連絡方法を検討してほしい。
- 図上では客観的にイメージしやすいが、時間の流れによる変化等意識して考えねばならず参考になった。イメージを膨らますきっかけとして事例の提供もしてほしいです。
- 災害が起きた場合、物資はどうにかなりそうだったが、職員をどうするかが最も必要になってくると思いました。
- とても有意義な訓練でした。今後も継続してほしいですし、できれば図上訓練、実動訓練を交互にやればいかがでしょうか。ご検討ください。大変お疲れ様でした。
- 天災が多いといえども人災が多いと思いますので、日頃からよく考えて頂きたい。
- 施設図を見やすく、分かりやすくしてほしい。
- どの意見も間違いではないとの事でしたが、せめてベターな考え方を示していただけたらと思いました。
- もう少し具体的な話が聞きたかった。市職員の方が司会でグループディスカッションをしましたが、福祉の理解がある人が良かったです。ディスカッションになってませんでした。経験のある方が良いと思います。ありがとうございました。

緊急時どう乗り切る

弘前市が福祉避難所開設図上訓練

あのまち このまち

さまざまな事象想定 各施設関係者が意見



要配慮者の受け入れ態勢をどのように整えるか シミュレーションする参加者

弘前市は9日、災害時に特別な配慮を要する避難者(要配慮者)の福祉施設での受け入れ態勢を考える図上訓練を市内で行った。津軽地方の施設関係者が集まり、与えられた条件に沿ってシミュレーションする初の形式で進め、起こり得るさまざまな事象を想定しながら、緊急時をどのように乗り切るか真剣に議論した。(下山和枝)

◆ 災害時は一般の指定避難所での生活が困難な人もいるため、福祉施設などに福祉避難所が開設される。市は福祉避難所に関する協定を締結している法人などを対象に、実際の施設を使った訓練を2016年度から実施しているが、施設を超えて関係者が集まり、図上訓練をしたのは初めて。

津軽地方の30法人から約40人が参加。部屋の配置が示された施設の平面図を前に、難病指定の高齢者や歩行困難者、人工透析が必要な高齢者、妊婦らさまざまな要配慮者が避難する想定で、7班に分

かれて検討した。参加者は「付き添い者がいる高齢者は広い部屋に入ってもらい、パーティーションで区切っては「付き添い者が女性だった場合、個室を用意すべき」「妊婦は臭いに敏感なので、臭いが届きにくい部屋を」などと意見交換しながら部屋を決定。

さらに不足した食糧・物資を市に依頼する想定では、「保存米を頼んで高齢者向けのおかゆは届くだろうか」「飲み込むことが困難な人向けにとろみ剤が欲しい」「タオルはバスタオルかフェースタオルかを具体的に指定すべき」といった課題が挙げられた。

アドバイザーとして出席した県の岡元温彦危機管理対策監は「異なる施設の関係者が意見交換することで、これまでになく視点や考え方を共有し、緊急時たい」と話した。

優勝目指し「げっげっ」

つがる弁 カルタ大会

園児、児童ら懸命に

平川



第24回つがる弁カルタ大会(平川市教委主催)が10日、平川市文

開いている新春の恒例行事。開会式では小和森小学校5年の赤平悠人君と同3年の赤平菜

こ 振袖かんざし 赤げほっぺ」などと読み上げられると、子どもたちは「はいっ」と札

鏡開きで稽古始め

日本空手協会 弘前中央支部 40人気合の掛け声

日本空手協会弘前中央支部(対馬利光師に精を出した。鏡開きは同協会原本部が主催。小学生から一般まで約40人が参加

昨年11月の全日本大会で女子優勝、男子準優勝という好成績を収めた青森中央学院大学ボウリング部の選手らが8日、三村申吾知事を表敬訪問。大会での活躍を報告した。

全日本ボウリング協会主催大会の中でも特勝に歴史があり、学生連

女子V、男子準V報告

青森中央学院大ボウリング部選手ら知事表敬



森中央学院

に生かすことができると意義を強調。参加した男性は「自分は高齢者と接する施設にいたため、災害時は高齢者が避難してくると考えていたが、そうではない事態も想定すべきだし、今回の件を施設に持ち帰って検討したい」と話した。

催し、会合や各種団体の新役員メール(hondou@mutusinipou.cc

福祉避難所基礎調査票（記入例…丸文字箇所が記入部分です）

※全ての項目を必ず記載することが目的ではありません。現時点で対応可能な状況について記載してください。
 ※行数が不足する場合は適宜挿入してください。協定締結施設が4か所以上の法人等は2枚に分けて作成してください。
 ※様式は右記からダウンロードしてご使用ください。弘前市ホームページ【健康と福祉】→【福祉・介護】→【福祉避難所】
 ※調査に関する問合せ先：弘前市 福祉部 福祉総務課
 電話：0172-40-7037、FAX：0172-32-1166、E-mail：fukushisoumu@city.hirosaki.lg.jp

【地域の状況】

地域の特性について	想定される状況	備考（課題等）
避難者が想定される地域	○○地区	
	○○地区山間付近	

【災害時に参集できる範囲】

日中の職員体制は？	日中（単位：人）	夜間（単位：人）	休日（単位：人）	課題
相談員	2	0	2	
看護師	2	0	2	
介護職員・支援員	15	5	15	臨時職員が多い
事務職員	3	0	3	
合計	22	5	22	
職員の居住地は？ ※（ ）内は徒歩時間	3*以内 （1時間以内）	9*以内 （3時間以内）	9*超 （3時間超）	課題
相談員	1	1	0	
看護師		1	1	近隣地域にいない
介護職員・支援員	10	10	5	正規職員が遠方
事務職員	1	1	1	
合計	12	13	7	

【施設の状況】

福祉避難所の運営体制について		施設①	施設②	施設③	備考
協定締結施設		弘前荘	岩木荘		
施設管理者		弘前一朗 （施設長）	岩木一朗 （施設長）		不在時代理者： ○○○○（副施設長）
福祉避難所担当者		弘前太郎 （生活相談員）	岩木花子 （生活相談員）		不在時代理者： ○○○○（生活相談員）
業務	業務内容	担当職員	担当職員	担当職員	備考（補助スタッフ）
総務・情報 担当	市との連絡調整、 避難者受付・名簿作成	弘前五郎	岩木五郎		
ボランティア 担当	ニーズ等の把握	弘前五郎	岩木五郎		
施設管理 担当	避難スペースの調整 救援物資の整理	弘前五郎	岩木五郎		
食料・物資 担当	食料、物資の配給 物資の在庫管理	弘前七子	岩木七子		
衛生 担当	清掃 ゴミの分別、運搬	弘前七子	岩木七子		
連絡先					
電話		11-1111	33-3333		
FAX		22-2222	44-4444		
E-mail		hirosakisou@ hirosaki.jp	iwakisoui@ iwaki.jp		
福祉避難所として使用可能なスペースについて（スペース面積も記入してください）					
福祉避難所スペースは？		地域交流室 （100㎡）	相談室・休憩室 （20㎡・8畳）		
使用可能な個室は（いずれかに○印）		有 <input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/> 無	有 無	
要配慮者の受入可能人数		5	2		

※調査票の提出に際しては、避難者スペースの写真・施設図面（平面図）も併せてご提出くださいますようお願いいたします。

【備蓄品の状況】

大規模災害が発生した直後は様々な物資が手に入りづらくなることが想定されますので、備蓄品を準備することは大切です。「福祉避難所開設・運営マニュアル」では、食糧等は可能であれば、応急的に必要とされる3日分（×受入人数）を備蓄することとしています。現状でどのような物資があるのかを確認し、備蓄品の確保を行うようにしましょう。（記入にあたっては職員数や入所者数、受入可能人数を考慮してください。）

≪ 1 職員用・施設維持に必要な備蓄品 ≫		施設職員数	22名	
備蓄品	数量	保管場所	備考	
① 飲料水	50本	1階倉庫	賞味期限〇年〇月まで	
② 食料（保存ご飯）	80食	1階倉庫	賞味期限〇年〇月まで	
③ 毛布	20枚	1階倉庫		
④ タオル	100枚	1階倉庫		
⑤ 衣類（下着）	5着	1階倉庫		
⑥ 医薬品（救急箱）	1箱	1階倉庫		
⑦ 洋式ポータブルトイレ	2個	1階倉庫		
⑧ 折り畳みベッド	3台	屋外倉庫		
⑨ 担架	1台	屋外倉庫		
⑩ パーテーション	5枚	屋外倉庫		
⑪ 発電機	2台	屋外倉庫		
⑫ 照明	2台	屋外倉庫		
⑬ 車いす	2台	屋外倉庫		
⑭ 燃料	20L	屋外倉庫	発電機用	
⑮				

≪ 2 利用者用の備蓄品 ≫		施設職員数	50名	
備蓄品	数量	保管場所	備考	
① 飲料水	100本	1階倉庫	賞味期限〇年〇月まで	
② 食料（保存パック米）	200食	1階倉庫	賞味期限〇年〇月まで	
③ 毛布	50枚	屋外倉庫		
④ タオル	300枚	屋外倉庫		
⑤ 衣類（下着）	10着	屋外倉庫		
⑥ 医薬品（救急箱）	1箱	屋外倉庫		
⑦ 洋式ポータブルトイレ	2個	屋外倉庫		
⑧ 折り畳みベッド	3台	屋外倉庫		
⑨ 車いす	2台	屋外倉庫		
⑩ 介護用品	1式	1階倉庫		
⑪ 衛生用品	1式	1階倉庫		
⑫				
⑬				
⑭				
⑮				

≪ 3 福祉避難所用の備蓄品 ≫		受入可能人数	3名	
備蓄品	数量	保管場所		
① 飲料水	30本	1階倉庫		
② 食料（保存パック米）	30食	1階倉庫		
③ 毛布	30枚	屋外倉庫		
④ タオル	100枚	屋外倉庫		
⑤ 衣類（下着）	10着	屋外倉庫		
⑥ 医薬品（救急箱）	1箱	屋外倉庫		
⑦ 洋式ポータブルトイレ	1個	屋外倉庫		
⑧ 折り畳みベッド	3台	屋外倉庫		
⑨ 担架	1台	屋外倉庫		
⑩ パーテーション	3枚	屋外倉庫		
⑪ 発電機	1台	屋外倉庫		
⑫ 照明	2台	屋外倉庫		
⑬ 車いす	3台	屋外倉庫		
⑭ 介護用品	1式	1階倉庫		
⑮ 衛生用品	1式	1階倉庫		

対象者の特性に応じた
備蓄品例 ※参考の一例です。

【高齢者】
おかゆ、紙おむつ、おしり拭き、杖など

【障がい者】
流動食、紙おむつ、おしり拭き、ストーマ装具、補聴器、携帯用酸素ボンベ、筆談用筆記用具など

【妊産婦・乳幼児】
粉ミルク（液体ミルク）、哺乳瓶、離乳食、紙おむつ、おしり拭きなど

ご協力ありがとうございました。